

第10回総合海洋政策本部会合議事概要

◎ 日 時：平成25年4月26日（金） 7時55分から8時5分

◎ 場 所：官邸4階大会議室

◎ 議事の概要：

○ 議事次第に沿って、審議が行われた。

○ 「海洋基本計画（案）」について、資料1-1に基づき事務局より説明が行われ、海洋基本計画（案）が異議なく了承された。

岸田外務大臣より、アジア太平洋を始めとする諸国との様々なレベルでの連携を強化するとともに、法の支配に基づく国際海洋秩序の確立を目指すため、とりわけ東アジアサミットやASEAN地域フォーラム等の枠組みにおいて、主導的役割を發揮し、世界の発展や平和に大きく寄与できるよう、引き続き努力していく旨の発言があった。

下村文部科学大臣より、新たな海洋基本計画の実現のため、海洋資源開発や海洋環境の保全を行っていくための基盤的な研究開発や人材育成に取り組んでいく旨の発言があった。

太田国土交通大臣より、権益を守りつつ、資源の開発にも戦略的に取り組んでいくことが必要であると考えており、総合海洋政策本部や各府省と連携しながら積極的に対応していく旨の発言があった。

石原環境大臣より、長崎県五島市沖の浮体式洋上風力発電実証事業等の取組により、洋上風力発電の導入量を拡大するとともに、海洋環境の保全の観点から、生物多様性の保全上重要な海域の管理を充実していく旨の発言があった。

○ 「『排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する基本計画』の平成24年度の進ちょく状況及び平成25年度の実施事項」について、報告が行われた。

○ 総合海洋政策本部長である安倍内閣総理大臣から挨拶が行われた。